

## 岩松地区五団体合同教育講演会

宮本延春さんを講師にお招きし「育てよう自己肯定感」をテーマに講演会が開催されました。およそ200名の参加者が聴講に訪れました。

「2時間の講演会は長いですが、聴講される方々は疲れませんか。」と宮本さんから言われていましたが、2時間では足りない、もっと聴きたい、と思わせる内容でした。

ドラマ金八先生の中で自身の名前の読み方が間違っって紹介されたエピソードを面白おかしく伝えられ、その気さくな人柄が会場みなさんの心をつかみました。

自身の生い立ち、家庭環境、いじめのはなし、教科書もランドセルも父親に燃やされたこと、中学校の成績はオール1で九九を全部言うことができなかったこと、大工見習いの仕事の苦勞、タンポポやありを食べて飢えをしのいだ暮らし、建設会社の社長さんが親身になって心配をしてくれた話、天外孤独の身になり家族というものに憧れを抱いていたこと、アインシュタインのビデオを見た時の勉強意欲の目覚め、小学校3年生の算数ドリルを23歳から学び始め定時制高校へ入学したこと、高校教師時代の生徒のテスト珍回答の話など映像を交えユーモアをたっぷり饒舌に、時には私たちの胸にせまるように語られました。

勉強の方法を知っている子、知らない子。やっているつもりが結果が出せずにもがいて、自分をダメ人間とってしてしまう。ダメ人間やできない子はいない、ただ時間が必要なかだけである。勉強の進め方のコツは、スモールステップ。きざんで教える。できるところから始める。コツをつかむと成長する。

当たり前の反対語は？正解は、ありがとう。ありがとうは、相手の存在価値を高める言葉である。毎日最低5回ありがとうを言おう。

親は自分の子どもの悪いところにはばかり目が行きがち、できたところや良いところに目を向けたくさん褒めてあげる。抱きしめてあげると自尊心が育つ。

共感的理解、肯定から始める（否定しない）、気持ちを大事に扱われると大事にされていると感じる。気持ちに寄り添う。大人の価値観を押し付けない（目線をさげる）。

講演会終了後は書籍販売を行いました。書籍は全て完売し、購入できなかった方々がたくさんいました。購入者にはサインをしてくださり、宮本さんに悩みを相談される保護者もありました。その方の悩みを真摯に受け止め、真剣にアドバイスをくださいました。

「感動しました。」「感銘をうけました。」「我が子への接し方を考えたい。」と話されている方もいましたし、我が子へのプレゼントとして購入される方もいました。

「私のバイブルです。」と”オール1の落ちこぼれ教師になる”の文庫本を持参してきた女性は、「この本に助けられ、自分はこのままでいいんだととても励まされました。」と話していました。